

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	微生物検査学2 (Laboratory Microbiology 2)		
ナンバリングコード	S20327	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S008751	クラス名	-
担当教員名	中野 忠男		
履修上の注意、 履修条件	1年次の「微生物学」の教科書(参考文献:メディカルサイエンス 微生物検査学)と講義ノートを読みかえし、適宜復習し、加えて2年次「微生物検査学1」も適宜復習すること。		
教科書	最新 臨床検査技師講座 微生物／臨床微生物学(医歯薬出版) プリント配布		
参考文献及び指定図書	メディカルサイエンス 微生物検査学(第二版)(近代出版)		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	1.感染防御を考慮し各種材料の取り扱い、消毒滅菌法を理解するとともに真菌、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ、ウイルス、プリオンについて基本形態・構造を説明できる。	
	2.主な細菌および糸状菌について、適切な培地と培養方法を説明できる。	
授業の概要	3.主な病原微生物について、その病原性および感染経路を説明できる。	
	臨床で問題となる微生物について適切な検査材料を安全に採取し、その取扱い方法および検査の手順を学ぶ。特殊な細菌(スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア)、糸状菌およびウイルス、プリオンについて学ぶ。特殊な細菌はその特徴と病原性および感染経路について、糸状菌はその特徴と染色法、培養法、病原性および感染経路について学ぶ。ウイルスについては保持する核酸がDNAとRNAに大別し、その特徴と病原性および感染経路について学修する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目	実務経験25年以上	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	70点	30点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
成績評価は定期試験・小テストおよび授業態度等で成績評価基準に沿って判定する。学習成果・課題のフィードバックとしては小テスト等終了の後、必要に応じて解説を行うと共に理解度が不十分な学生に対しては個別に対応する。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	微生物検査学2 (Laboratory Microbiology 2) 中野 忠男	授業コード	S008751
学修内容				
1. 検査材料別検査法(1) 検査法の概要および血液・体液(血液検査、髄液検査、膿・分泌物、体腔液、穿刺液検査)について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
2. 検査材料別検査法(2) 呼吸器系(喀痰検査、咽頭鼻腔検査)について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
3. 検査材料別検査法(3) 消化器・泌尿器系(糞便検査、胆汁・胃液検査、尿検査)について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
4. 特殊な細菌(1) スピロヘータ、レプトスピラ、マイコプラズマの形態と染色、病原性、培地と培養について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
5. 特殊な細菌(2) リケッチア、クラミジアの形態と染色、病原性、培地と培養について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約1時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約1時間
6. 真菌(糸状菌1) アスペルギルス、ペニシリウムの形態と染色、病原性、培養と培地について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
7. 真菌(糸状菌2) 接合菌の形態と染色、病原性、培養と培地について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
8. 真菌(糸状菌3) 皮膚糸状菌の形態と染色。病原性、培養と培地について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	微生物検査学2 (Laboratory Microbiology 2) 中野 忠男	授業コード	S008751
学修内容				
9. 真菌(糸状菌4) 黒色真菌とその他の真菌の形態と染色、病原性、培養と培地について学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
10. DNAウイルス(1) 総論および主に痘瘡ウイルス、伝染性軟属腫ウイルス、単純ヘルペスウイルス、水痘-帯状疱疹ウイルス、ヒトサイトメガロウイルス、EBウイルスについて学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
11. DNAウイルス(2) 主にアデノウイルス、パピローマウイルス、パルボウイルス、ヘパドナウイルスについて学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
12. RNAウイルス(1) インフルエンザウイルス、ムンプスウイルス、麻疹ウイルス、ヒトRSウイルス、デングウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイルス、ウエストナイルウイルス、黄熱ウイルス、ラッサウイルス、ハンタウイルス、ヒトコロナウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、ポリオウイルス、ライノウイルスについて学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
13. RNAウイルス(2) 主にラブドウイルス、フィロウイルス、レトロウイルス、肝炎ウイルスについて学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
14. 下痢症きたすウイルス、プリオン 下痢症をきたすウイルス(ロタウイルス、腸アデノウイルス、ノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルス)、プリオンの病原性と処理法、ファージについて学ぶ。				
予習	それぞれの項目について教科書を読み予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
15. まとめ まとめ				
予習	講義ノートに一通り目を通しておく。			約2時間
復習	重要ポイントを講義ノートにチェックし確認し理解を深める。			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				